

急性脳損傷に対する 脳保護療法

講師：青山 峰芳 教授

名古屋市立大学 大学院薬学研究科
病態解析学分野



日時：2025年9月3日(水) 17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOMによる配信も実施します。オンラインでの参加

は **本セミナーは対面発表のみに変更になりました。**
参加者は会場までお越しください。

ミーティング ID: 841 4831 8491 パスコード: 20250903



臨床現場では急性脳損傷に対する様々な脳保護療法が試みられている。周産期医療においては、新生児仮死に伴う新生児低酸素性虚血性脳症(HIE)に対して低体温療法が施行され、神経予後の改善の有効性が認められている。しかし、低体温療法を施行しても半数近い症例では依然予後不良であり、感染症のリスクや低出生体重のため適応にならないことがある。いまだ謎の多い低体温療法の脳保護メカニズムを解明し、作用機序をヒントにより有効性の高い、より安全性の高い新規治療法の開発を目指している。本セミナーでは、グリアが形成する脳内微小環境の変化や創薬候補となる分子標的を中心に紹介する。

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp